



JIS A 5758
PU-1-9030-A-N
386031

1成分形ポリウレタン系弾性シーリング材

ボンドウレタンコーク

ボンドウレタンコークは、ポリウレタンを主成分とした湿気硬化型の1成分形弾性シーリング材です。低モジュラスで極めてゴム弾性に富み、伸縮や振動、温度変化に対して安定した弾力性を有します。

■用途

- 各種外装建材パネルおよびボード類の目地
- コンクリート壁の目地
打継ぎおよび誘発目地、サッシまわり目地、壁式PCa目地
- 各種ひび割れ補修
コンクリート、モルタル、スレート、PCa、ALCなどのひび割れ補修
- 自動車、車両、船舶などの気密シール

※エキスパンションジョイントなど、特に動きの大きい場所への使用は避けてください。

※外装および耐水性を必要とするセメント系製品目地には、「ボンドシールプライマー#7」を併用してください。

※透明ガラスや透明プラスチックなど、接着面に日光が当たる部分には使用できません。この場合は、「ボンドシリコンコーク」を使用してください。ただし、接着面に日光が当たらない場合は使用できます。

※金属間目地、露出目地（塗装しない目地）には使用できません。

※施工上の注意および塗装に関する注意は別項をよくお読みください。

■特長

- 柔軟で極めてゴム弾性に富んでいます。
- 耐久性に優れ、JIS A 5758 耐久性区分9030に適合します。
- 比較的広範の下地材料への接着性に優れます。
- 広範囲の塗材が塗装できます。
- 室温硬化型の1液型シーリング材ですから使いやすく作業性に優れています。

■性 状

JIS A 5758に基づく試験結果

項 目		ボンドシーリング材		ポリウレタン系	
				ウレタンコーク	
外	観	ペースト状			
押出し性(秒)	5℃	12			
	20℃	5			
スランプ(50℃、mm)	縦	0			
	横	1未満			
汚	染	性	なし		
皮張り時間(分)	5℃	200~300			
	20℃	200~300			
	35℃	200~300			
タックフリー(時間)	5℃	72以内			
	20℃	6			
内部硬化(日) [5mm厚完全硬化]	5℃	18			
	20℃	7			
比	重	1.24			
加	熱	減	量	(%)	12以下

※性状は改良のため予告なく変更することがあります。

■性 能

JIS A 5758に基づく試験結果

項 目		ボンドシーリング材		ポリウレタン系			
				ウレタンコーク			
耐		久		性			
耐		オ		性			
引		被		9030			
張		着		異常なし(9030)			
接		体					
着		条件		50%引張応力	最大引張応力	最大荷重時の	
性		モルタル板		N/mm ² [kgf/cm ²]	N/mm ² [kgf/cm ²]	伸び (%)	
引張接着性	モルタル板	養生後	20℃	0.25(2.6)	1.66(16.9)	870	
			-10℃	0.40(4.1)	2.63(26.8)	980	
		加熱後	20℃	0.34(3.5)	1.67(17.0)	770	
			-10℃	0.55(5.6)	2.73(27.9)	970	
		水浸せき後		20℃	0.26(2.7)	1.74(17.7)	1030

※表中の数値は標準値を示しています。

■施工方法

① 施工面の清掃



② バックアップ材の装てん



③ マスキングテープ貼り



④ プライマー塗布



⑤ シーリング材の充てん



⑥ ヘラ仕上げ



⑦ マスキングテープの除去



⑧ 施工後の清掃



⑨ シーリング材の養生

施工の前に、下地が乾燥していることを確認してください。降雨時や降雪時など、下地がぬれている状態での施工を避けてください。

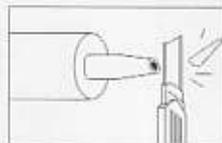
- 施工面の油、離型剤、ゴミなどのよごれは接着不良の原因となります。
- ハケや布でからぶきし、塗料うすめ液や有機溶剤を浸したきれいな布でふいてください。塗料うすめ液や有機溶剤が下地をおかす場合は、ノルマルヘキサンなど溶解力の小さい有機溶剤をご使用ください。
- 施工面は十分に乾燥させてください。

- 目地深さの調節および三面接着を防ぐ必要がある場合は、バックアップ材を装てんしてください。目地が浅くバックアップ材が装てんできない場合には、目地底にポリエチレン製またはテフロン製のボンドブレイカーをご使用ください。

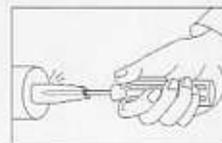
- 粘着剤のついたテープでマスキングしてください。周辺の汚れを防止し、美しく仕上げます。除去したときに粘着剤が残らない良質のテープをご使用ください。
- マスキングテープは目地ぎわに沿って、しっかり貼ってください。

- プライマー処理を必要とする場合は「ボンドシールプライマー#7」をハケで充分かつ均一に塗布し、30～60分乾燥させてください。

- カートリッジのノズルを、目地幅よりやや小さめにカットします。次にノズル口からドライバーなどを差し込み、内側のアルミ防湿膜を破り大きく広げます。カートリッジガンにカートリッジをセットし目地底にノズルを当て、隅々まで充分に充てんしてください。プライマー乾燥後8時間以内に充てんしてください。



●ノズルカット



●アルミ防湿膜を破る



●カートリッジガンにセットする

- 充てん後はすみやかにヘラ仕上げを行ってください。
- 目地幅にあったヘラで、充分に押さえながら平滑に仕上げてください。
- 薄層部は紫外線による劣化を受けやすいため、できるだけ薄層部が残らないようにしてください。

- ヘラ仕上げ後はすみやかにマスキングテープを除去してください。

- 不要部分に付着した場合は、すみやかにふき取ってください。
- 清掃には塗料うすめ液や有機溶剤を使用します。このとき、汚れを広げたり塗面を溶解させないように注意してください。

上塗りをする場合は、以下の点に注意してください。

- シーリング材施工後、1～7日の間に塗装してください。塗装時間が遅くなると、塗料の密着性が低下する場合があります。塗料の種類によって密着性が悪くなる場合や、表面がベタついて汚染する場合があります。ご使用前に、あらかじめ確認してください。
- フタル酸またはアルキッド樹脂系塗料などの合成樹脂調合ペイントを、なるべく使用しないでください。塗膜乾燥が遅くなり、吸塵汚染の原因となります。
- 目地からはみ出した部分や、シーリング材の厚みが1mm以下の薄い部分に、溶剤系塗料や溶剤系シーラーを直接塗布しないでください。表面がベタつきます。
- ウレタンコークは、アルコールと反応すると硬化不良を起こす場合があります。同室内および隣接する場所でのシリコンコークなどアルコール類を発散する材料とは絶対に同時に使用しないでください。

■技術データ

1. 各種被着体への接着性

被 着 体		接 着 性	
		プライマー なし	シールプライマー #7使用
無機質材	ガラス *1	○	—
	磁器タイル (表)	○	—
	〃 (裏)	○	—
	スレート	△	○
	モルタル	△	○
	ALC	△	○
金 属	アルミ素地	○	—
	アルマイトアルミ	○	—
	アクリル焼付アルミ	○	—
	カラーアルミ	△	○
	ステンレス	△	○
	軟鉄 *2	△	○
	亜鉛鉄板 *2	△	○
	銅 *2	△	○
プラスチック *3	塩ビ鋼板	△	—
	スチロール	×	○
	アクリル	△	○
	塩ビ (硬質) *4	△	○
	〃 (軟質)	×	△
	FRP	○	—
ゴ ム	ABS	△	○
	CRゴム	○	—
	NRゴム	△	○
	NBRゴム	△	○
木 材	ブチルゴム	△	○
	スギ	○	—
	ヒノキ	○	—
	チーク	○	—
	合板	○	—

○：適する △：接着するが注意を要する ×：適さない

*1：接着面に日光が当たる場合は使用できません。

*2：発錆に注意する。

*3：表面の離型剤に注意を要する。プライマーの溶剤により侵されることがあるので注意を要する。

*4：上水の給水配管・継手まわりへは使用できません。水圧により塩化ビニル樹脂が変形し、ソルベントクラックが発生するおそれがあります。水圧による変形が発生しない排水配管には使用できます。

2. 各種樹脂塗面への接着性

塗料の種類	商品名	接着性
アクリル焼付塗料	ジュラクロンCW	○
	マジクロン	
メラミン焼付塗料	アミラック	○
ウレタン焼付塗料	Vクロマ	△
アクリルウレタン樹脂系塗料	Vトップ	○
エポキシ樹脂系塗料	エポエックス	○
	ミリオン	
	コボナ	
フタル酸アルキッド樹脂系塗料*	グラファイト	○
	タイコーペイント	
	タイコーマリン	
	ハイメル	
アクリル溶剤系塗料*	メタラックM	△
	アクリック	
塩ビ系塗料*	ビニローゼ	△
アクリル水性塗料	レジリシン	○
鉛丹錆止塗料	鉛丹サビナイト	○

○：適する △：接着するが注意を要する ×：適さない
*：塗膜強度に注意を要する。

3. 塗料密着性（上塗り適性）

塗料の種類		塗装適性
水性系塗料	アクリル系	A 社 ○
		B 社 ○
		C 社 ○
	ビニール系	A 社 ○
		C 社 ○
		D 社 ○
	リシン系	A 社 ○
		B 社 ○
		D 社 ○
	厚塗り弾性タイル系	E 社 ○
		A 社 ○
		C 社 ○
反応系塗料	D 社 - 1 △	
	D 社 - 2 ○	
	E 社 ○	
	F 社 ○	
溶剤系塗料	アクリル系	C 社 △
		D 社 △
		E 社 ○
	塩ビ系	F 社 △
		H 社 乾燥阻害
	フタル酸アルキッド樹脂系	I 社 乾燥阻害
塩化ゴム系	E 社 塗膜軟化	

○：密着性良 △：密着性可 ×：密着性不可

■技術データ

4.耐薬品性

薬品名	評価	備考
10 % 硫酸	○	
10 % 塩酸	×	
10 % 酢酸	○	
10 % 次亜塩素酸ナトリウム	×	
5 % 苛性ソーダ	○	
10 % 食塩水	○	
エタノール	×	軟化
5 % 中性洗剤水溶液	○	
水道水	○	
海水	○	
エンジンオイル	△	
ガソリン	×	軟化
灯油	×	軟化
35 % ホルマリン	×	

○：良 △：可 ×：否

※試験方法：各薬品に20℃・1年間浸せき放置後、状態を観察

■標準施工量

カートリッジ1本 (320ml) 当たりの概算施工メーター数

目地深さ (mm) \ 目地幅 (mm)	5	8	10	12	15	20
5	12.2	7.6	6.1	—	—	—
8	—	4.8	3.8	3.2	2.5	—
10	—	—	3.0	2.5	2.0	1.5
12	—	—	—	2.1	1.7	1.2

※数量には5%のロスを含んでおり、状況に応じて増減する場合があります。

■色調

ホワイト、アイボリー、アンバー、グレー、ブラック

■梱包容量

ウレタンコーク：320mlカートリッジ入り
…20本(10本×2)入り/1ケース

■注意事項

本品の取り扱いには、下記の注意事項を守ってください。

- 取り扱い中は、できるだけ皮フにふれないようにし、必要に応じて保護具を着用する。特にプライマー使用時には、有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク、保護手袋、保護メガネなどを必要に応じて着用する。
- 取り扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行う。
- 皮フに付着した場合には、すみやかにふき取り石ケンと水でよく洗い落とす。
- 眼に入った場合には、多量の水で洗い、必要に応じて医師の診察を受ける。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受ける。
- 直射日光が当たらない、乾燥した冷暗所に保管する。有効期間：1年（5～25℃の冷暗所保存の場合）
- 空気中の湿気と反応して硬化するため、開封後はすみやかに使いきる。

[シールプライマー]の取り扱いには、下記の注意事項も加えて守ってください。

引火性の液体です。

有機溶剤中毒の恐れがあります。

皮フに付着したり蒸気を吸入すると、かぶれや中毒、その他の健康障害を起こす恐れがあります。

- 火気のある場所や、静電気の発生する場所では使用しない。
- 取り扱い作業場所には局所排気装置を設け、十分に換気する。
- 容器から出し入れする場合には、こぼれないように注意する。
- 容器からこぼれた場合には、砂などを散布した後に処理する。
- 蒸気やガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受ける。
- 火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いる。(火気厳禁、第四類第一石油類 危険等級Ⅱ)

※詳細な内容が必要な場合には、製品安全データシート (MSDS) をご参照ください。

国際単位系(SI)による数値の換算は、 $1\text{kgf}=9.8\text{N}$ 、 $1\text{cP}=1\text{mPa}\cdot\text{s}$ 、 $1\text{kgf}\cdot\text{cm}=9.8\times 10^{-2}\text{J}$ 、 $1\text{MPa}=1\text{N}/\text{mm}^2$ です。
 $1\text{N}/\text{mm}^2$ は約 $10.2\text{kgf}/\text{cm}^2$ に相当します。

本資料の技術情報、標準処方例は当社の試験、研究に基づいたもので、信頼しうるものと考えますが、記載の諸性能および諸特性などは、材料や使用条件などにより本資料と異なる結果を生ずることがあります。実際の諸性能、諸特性などについては、ご需要家各位で試験、研究ならびに検討の上、ご使用いただきますようお願いいたします。

コニシ株式会社 **ボンド事業本部** 大阪本社/大阪市中央区平野町2-1-2(沢の鶴ビル) 〒541-0046 TEL06(6228)2961 FAX06(6228)2927
東京本社/東京都千代田区神田錦町2-3(竹橋スクエア) 〒101-0054 TEL03(5259)5737 FAX03(5259)2144

名古屋支店	TEL052(262)8173	FAX052(262)8175	仙台営業所	TEL022(211)5031	FAX022(211)4990	金沢営業所	TEL076(223)1565	FAX076(223)4794
福岡支店	TEL092(551)1764	FAX092(551)1545	北関東営業所	TEL027(324)3002	FAX027(324)1187	広島営業所	TEL082(507)1911	FAX082(507)6676
札幌支店	TEL011(612)0211	FAX011(612)0219	南関東営業所	TEL046(229)9610	FAX046(229)9636	高松営業所	TEL087(835)2020	FAX087(835)4623

JテU01-03

R100

高配合比率100%再生紙を使用しています。

ウレタンコーク 97.6.3000(O)139-FD
2006.5.5000(T) 55-FD